

5. まとめ

死亡・行方不明衝突事故の発生状況には、次のような特徴があることが分かりました。

- 死亡・行方不明衝突事故に関係した船舶のうち、死亡者、行方不明者が発生した船舶を船種別にみると、**漁船が約 5 割、プレジャーボートが約 2 割**
- **死亡者、行方不明者が発生した船舶の約 9 割が 20 トン未満の小型船舶**
- 死亡・行方不明衝突事故に関係し、相手船の認知状況が判明している船舶のうち、**相手船を認識していたのは約 4 割、相手船を認識していなかったのは約 6 割**

また、死亡・行方不明衝突事故の事故事例から、事故を防ぐためには、主に次の点が重要であることが分かりました。

- **常時、適切な見張りを行うこと。**
- 操船者は、**死角の状況を正確に把握し、死角がある場合は、死角を補う見張りを行うこと。**
- **視界制限状態における音響信号を行うこと。**

AIS 機器の効果に関するアンケートの結果からは、次のようなことが分かりました。

- 「他船が自船に接近して、危険を感じることはなくなったか」に対し、「**なくなった**」、「**少なくなった**」が合わせて約 8 割
- 「AIS は役に立っていると思うか」対し、「**役に立っている**」、「**少しは役に立っている**」が合わせて約 9 割

見張りの補助として、漁船など小型船舶に **AIS を設置することが、衝突事故防止に有効**

事故防止分析官のひとこと

操船者の皆さまにおかれては、事故防止に向け、適切な見張りを心がけるなど、日々安全に配慮され運航されていることと思います。

AIS の設置は、設置場所や費用等の制約もありますが、簡易 AIS に加え、最近ではスマートフォンアプリの開発も進み、衝突回避に向けた情報をより容易に利用できるようになってきました。

本ダイジェストに記載した事故防止対策が、皆さまにとって安全確保に繋がることを願っております。

〒160-0004
東京都新宿区四谷 1 丁目 6 番 1 号
四谷タワー 15F
国土交通省運輸安全委員会事務局
担当：参事官付 事故防止分析官

TEL 03-5367-5030
URL <https://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>
e-mail hqt-jtsb_bunseki@gxb.mlit.go.jp

「運輸安全委員会ダイジェスト」に関するご意見や、出前講座のご依頼をお待ちしております。